

歴史 のまち

歴史上の人物にも
愛された明石のまち

明石城を中心に城下町として栄えた明石。宮本武蔵が明石の町割りをしたとも伝えられており、万葉の歌人、柿本人麻呂が残した歌の石碑や紫式部が書いた源氏物語ゆかりの風景など、市内には名だたる歴史上の人物に関連する史跡が多く残されている。そんな往時に思いを馳せ、まちを巡り歩けば明石の奥深さが見えてくる。

明石城（兵庫県立明石公園）

小笠原忠政（後の忠真）により築城され約400年の歴史を持つ日本100名城のひとつ。巽櫓と坤櫓は日本に12基しか現存していない貴重な三層櫓の内の2基であり、国の重要文化財に指定されている。園内には、武蔵の庭園や芝生広場もあり、ゆっくりと散策できる。「日本の都市公園100選」や「さくら名所100選の地」、「兵庫景観ビューポイント」にもなっており、多くの来園者で賑わっている。



【問】兵庫県立明石公園 Tel 078-912-7600
✉ info_akashi@hyogopark.com

中崎公会堂

1911（明治44）年に建築された明石で最も古い公共施設で、こけら落としには夏目漱石が講演した歴史も。奈良・鎌倉時代の建築様式を取り入れ、木造トラス構造を採用。県指定文化財。

【問】明石市立市民会館 Tel 078-912-1234
✉ info@akashi.hall-info.jp



歴代藩主

初代明石藩主である小笠原忠政は、徳川家康と織田信長を曾祖父に持つ。2～7代目は大久保氏や本多氏等、8～17代目までは徳川縁戚である越前松平家が藩主を務め、明治に至り版籍奉還を迎えた。



船上城跡（船上西公園）

1585（天正13）年、高山右近が築城し、城下町を整備。船上西公園には、高山右近の説明や当時と現在のイラストマップなどが描かれた案内看板があり、当時の船上城下を偲ぶことができる。

【問】明石市 観光プロモーション課
Tel 078-918-5263
✉ kanko@city.akashi.lg.jp

善楽寺（戒光院・円珠院）

市内で最も歴史のある寺院。645（大化元）年に法道仙人によって創建され、平清盛によって再興された。戒光院には平清盛供養塔や源氏物語に由来する明石入道の碑、光源氏古跡明石之浦之浜之松の碑があり、円珠院には宮本武蔵作庭と伝わる枯池式枯山水庭園がある。

【問】戒光院 Tel 078-917-5070
Fax 078-917-5528
円珠院 Tel 078-912-7830
✉ gyousenenjiuin@gmail.com



明石市立文化博物館

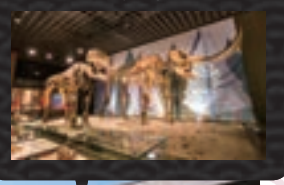
地域の歴史と文化を紹介する常設展示の他、特別展や企画展など多彩な展覧会を開催。あわせて幅広い世代が楽しめる催しなども年間を通じて開催。



【問】明石市立文化博物館
Tel 078-918-5400
Fax 078-918-5409



アカシゾウの骨格標本模型は迫力満点！



ここに石碑を
建てよう！



松平忠国と源氏物語

紫式部が書いた「源氏物語」。源氏物語を愛した5代明石藩主・松平忠国は「明石の巻」に登場する舞台を明石に実在する寺社にモデルとして設定し、「源氏物語ゆかりの地・明石」を広める功績を残した。

無量光寺と 鶯の細道

無量光寺は源氏物語で光源氏が月見をした屋敷のモデルと伝わる。鶯の細道は光源氏が明石の君の住む岡辺の館へ通った道のモデル。ロマンスあふれるスポット。

